

議案第1号

令和2年度事業報告書

学校法人成田会 理事長 成田守夫

令和3年6月24日提出

令和3年6月 日議決

1. 法人の概要

(1) 設置する学校 長野医療衛生専門学校・長野救命医療専門学校

(2) 学生数の状況(令和2年5月1日現在)

長野医療衛生専門学校

学科	学年別学生数					備考
	1	2	3	4	計	
歯科衛生士学科	27	21	12	/	60	平成9年度設置
言語聴覚士学科	19	22	17	11	69	平成13年度設置
音楽療法士学科	6	11	1	/	18	平成14年度設置
合計	52	54	30	11	147	

長野救命医療専門学校

学科	学年別学生数				備考
	1	2	3	計	
救急救命士学科	11	17	19	47	平成18年度設置
柔道整復師学科	15	11	9	35	平成18年度設置
合計	26	28	28	82	

(3) 学生数及び充足率の推移(毎年度5月1日現在)

学科	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度
歯科衛生士学科	71人	66人	55人	47人	60人	73人
言語聴覚士学科	60人	61人	67人	66人	69人	67人
音楽療法士学科	18人	19人	12人	17人	18人	28人
救急救命士学科	74人	78人	74人	71人	47人	65人
柔道整復師学科	31人	31人	28人	31人	35人	38人
合計	254人	255人	236人	232人	229人	271人
充足率	55.3%	55.6%	51.4%	50.5%	49.9%	59.0%

(4) 卒業者の状況 (令和3年3月31日現在)

長野医療衛生専門学校

学科	卒業者数	就職者数		進学者数	その他
		県内	県外		
歯科衛生士学科	12	11	1	0	0
言語聴覚士学科	10	2	5	0	3
音楽療法士学科	1	0	1	0	0

長野救命医療専門学校

学科	卒業者数	就職者数		進学者数	その他
		県内	県外		
救急救命士学科	18	8	4	2	4
柔道整復師学科	9	6	2	0	1

(5) 役員者の状況 (令和3年4月1日現在)

役職	氏名	選出基準	就任年月日	職業
理事長	成田守夫	学識経験者	H9.3.28	理事長
理事	宮下貞夫	学識経験者	H9.3.28	歯科医師
理事	我妻忠夫	評議員会	H15.4.1	救急救命校長
理事	土屋準	学識経験者	H21.5.28	弁護士
理事	沓掛由利子	学識経験者	H18.5.19	会社社長
理事	二宮晏	校長	H30.5.30	医療衛生校長
監事	酒井喜良		H23.5.26	社会保険労務士
監事	欠員			

(6) 評議員者の状況 (令和3年4月1日現在)

氏名	選出基準	就任年月日	職業
成田守夫	学識経験者	H9.3.28	理事長
我妻忠夫	法人職員	H15.4.1	救急救命校長
小宮山守	学識経験者	H24.9.26	元救急救命校長
中村清子	法人職員	R1.5.29	医療衛生校事務長
宮崎栄理子	法人職員	H21.10.1	歯科衛生士学科長
瀧野昌也	法人職員	H19.3.28	救急救命士学科長
中村哲也	法人職員	H11.4.1	救命医療校事務長
藤森貴久	卒業生	H26.5.28	言語聴覚士学科卒業
永井香奈美	卒業生	R3.2.24	柔道整復師学科卒業
富井浩子	法人職員	R3.2.24	言語聴覚士学科長
下村定資	学識経験者	H9.3.28	歯科医師
西田不折	学識経験者	H31.2.20	会社会長
堀内操	学識経験者	H21.3.28	音楽療法士

(7) 教職員の概要（令和3年4月1日現在）

職名等	人員	備考
理事	6	理事長（1） 校長（1）
監事	2	1名欠員
評議員	13	
法人事務局	3	
教員（常勤）	24	医療衛生 13.0 救命医療 11.0
教員（非常勤）	61	医療衛生 48.0 救命医療 13.0
事務職員	6	医療衛生 3.0 救命医療 3.0
計	115	

(8) 常勤教員の年齢構成・学位取得状況（令和3年4月1日現在）

年齢	学位等					計
	博士	修士	学士	専門学校等	(内本校)	
70歳以上	1		2			3
60歳代	1			1		2
50歳代			2			2
40歳代		1	3			4
30歳代			2	5	(5)	7
20歳代			1	5	(5)	6
計	2	1	10	11	(10)	24

2. 事業の状況

(1) 法人関係

- ア 法人経営会議を毎月開催し、法人経営に係る各種課題を検討している。
- イ 中期計画初年度の進行管理を行い、令和2年度の重点課題を整理した。
- ウ 学校法人成田会研究ジャーナル第2巻を刊行した。
- エ 私立学校法の改正に伴い、学校法人成田会寄附行為を令和2年4月1日付で改正し、それに基づき法人運営の適正化に取り組んでいる。
- オ 有限会社上田ワイ・エス・エー(以下「YSA」という。)との利益相反取引について、5月27日の理事会で承認を受けた。
- カ 給与の不適切支給事案について、過払い分8,267,104円を受給者に返還させ、就業規則に反した支給を行った当事者等を処分した。また、給与の不適切支給に関与した関係者を担当事務から外し新規採用者を給与・経理事務に充て、事務執行体制の適正化を図った。
- キ YSAへの不適切な資金提供について、提供された36,020,651円を返還請求するとともに、管理監督者である成田守夫理事長を減給の懲戒処分とし、不適切な法人運営の是正及び再発防止を図った。
- ク YSAが支払うべき2号館の火災共済掛金の一部を、成田会から支出していた事実が発覚し、当該掛金3,134,012円をYSAに返還させた。

(2) 長野医療衛生専門学校

ア 新型コロナウイルス感染症拡大に伴い国の緊急事態宣言を受け、本校は4月10日～5月31日まで休校とした。また休校期間中の授業の遅れを最小限にするため代替措置として5月11日～5月29日まで全学科でオンライン授業を実施した。

イ 学校関係者評価委員会の開催は文書にし、令和元年度の教職員自己点検結果、学生アンケート結果及び学校関係者評価委員による再評価結果を反映した令和2年度における改善方策を提示した。

ウ 教育課程編成委員会を今年度より3学科合同で開催し、その提言に基づき授業の充実に努めた。

エ 歯科衛生士学科は、令和2年度 講師・指導教員会議は中止し、予定していた内容は令和2年3月26日付書面にて報告した。

3年生【臨床実習Ⅱ】は4月1日から10月30日まで78日間を予定していたが、4月13日から5月10日まで実習を中止し、5月12日から11月4日の期間で必要時間数を確保した。【臨地実習】のうち高齢者施設実習は中止し代替として校内で衛生教育実習を行った。

2年生は9月24日に「戴帽式」を行い9月28日から12月8日まで40日間【臨床実習Ⅰ】を実施した。【障害者歯科学】障害者支援施設実習は中止した。

1年生は9月25日に歯科診療所見学実習を行った。

2・3年生がボランティアとして参加予定であった上田小県歯科医師会主催「第24回いい歯の日フェスタ」は企画内容が縮小変更されたため学校として後援のみ行った。

10月28日南木曾町立南木曾中学校にて出張講座「歯科材料に触れてみよう」

11月17日に駒ヶ根市立東伊那公民館にて出張講座「口腔清掃の大切さについて」を行った。令和3年2月20日に池田町交流センターかえでにて出張講座「歯科材料に触れてみよう」実施依頼があったが中止となった。

オ 言語聴覚士学科は、4月6～10日に予定していたオリエンテーションを6日に3、4年、7日に1、2年のみで行い、その後は休講となった。学生には自宅学習用の課題を設定した。この間、オンライン授業のための準備を進め、4月16日には全学生との通信状況が確認された。4月20日に使い方をレクチャーし、4月21日の4年生から順次オンライン授業を開始した。6月1日より登下校時間に工夫を行いながら時間割通りの対面授業を再開した。6月30日、7月7日の2日にわたり、ハイブリット（5Fロビーと各教室）で失語症学演習として失語症者を迎えるの演習を行った。前期試験はオンラインで開催し、後期は対面授業、通常試験を行った。3月1日～3日は症例検討会・研究発表会を紙上・オンデマンドで行った。

感染症対策として実施を見送ったものは、フォローアップデイ、学会研修、言語聴覚の日の啓蒙活動があるが、その他は時期を遅らせることや人数を制限することなど、対策の中で行うことができた。

カ 音楽療法士学科は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、5月11日よりオンライン授業を開始、5月29日まで行った。その間、各学生には健康観察記録

として

体温の計測、不要な外出の制限を設け、感染防止を図った。6月1日からは、マスクの着用、手指・楽器の消毒、ソーシャルディスタンス確保の徹底のもと、通常授業を再開した。

8月28日に塩尻市立広陵中学校にて、出張講座「音楽療法士の仕事について」を行った。また、10月6日に佐久平総合技術高校臼田キャンパス、12月2日に丸子修学館高校にて、出張講座「音楽療法ワークショップ 楽器に触れてみよう」を行った。

8月29日に開催予定であった定期演奏会は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした。

3月6日に上田市交流文化芸術センター サントミュージゼ小ホールにて、音楽療法士学科の定期演奏会を開催。学生は普段、4ヶ所の病院施設や特別支援学校で実習を重ねており、病気や障害に合わせて機能の維持改善、心身の障害の回復などに向けた音楽の使い方を学んでいる。定期演奏会は、音楽療法の周知と学生の日頃の実習・練習の成果を発表する場となっている。

(3) 長野救命医療専門学校関係

ア 新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、次の対応を行った。

4月13日(月)～5月6日(水) 臨時休校

5月4日(月) 感染防止と学習機会の確保の両立を図る授業実施方針決定

5月7日(木)～5月23日(土) 分散登校

5月25日(月)～全日授業開始

現在、感染防止の徹底及び新しい生活様式の定着指導を継続して行っている。

イ 4月19日(日)の長野マラソン(中止)

ウ 6月4日(木)教育課程編成委員会、6月11日(木)学校関係者評価委員会並びに2月18日(木)教育課程編成委員会、2月25日(木)学校関係者評価委員会は文書によって意見と評価を依頼した。

エ 出張講座について次の通り実施した。

① 6月10日(水)、)東御市立滋野小学校の依頼により教員を派遣し「救急救命士の特定行為」を中心として指導に当たった。

② 8月28日(金)塩尻市立広陵中学校の依頼により教員を派遣し、救急法を中心とした指導に当たった。

③ 10月28日(水)佐久市立城山小学校の依頼により教員を派遣し、「怪我をしない身体づくり」を中心とした指導に当たった。

④ 2月5日(金)第一学院の依頼により教員を派遣し「救急救命士の特定行為」を中心として指導に当たった。

⑤ 2月17日(水)雇用支援機構の依頼により教員を派遣し、救急法を中心とした指導に当たった。

オ 校外実習を下記のとおり実施した。

① 6月1日(月)～6月26日(金)救急救命士学科3年生臨床実習(病院)

- ② 9月～10月救急救命士学科1年生早期体験実習（各消防署）
- ③ 8月3日（月）～7日（金）救急救命士学科3年生救急自動車同乗実習
- ④ 9月15日（火）両学科1年生普通救命講習（東御消防署）

カ 教員の資質向上を図るため、次の研修会に教員が参加した。

- ① 8月13日（木）JESA総会・研修会がオンラインで開催

キ 次の大会（中止）

- ① 8月8日（土）～9日（日）全国専門学校野球選手権大会北信越大会（中止）

ク 山岳救命コース

- ① 6月16日（土）登山実習(1)、10月10日（土）四阿山登山実習(2)中止
- ② 6月19日（金）湯の丸高原山岳実習「登山の基礎Ⅰ」
- ③ 2月5日（金）雪上訓練（湯ノ丸高原）

ケ 次の行事を下記のとおり実施した。

- ① 4月30日（木）、5月1日（金）合宿交流会（中止）
- ② 5月29日（金）救急救命士学科徽章授与式実施
- ③ 6月26日（金）柔道整復師学科学習発表会実施
- ④ 11月21日（土）第15回学園祭「沙羅祭」を実施し一般公開するとともに、県「地域発 元気づくり支援金」事業「市民公開講座」を開催
- ⑤ 8月31日（月）防災訓練「地震を想定した避難訓練」実施
- ⑥ 12月1日（火）冬季避難訓練実施

コ 全国スポーツ大会

- ① 全国バレーボール大会（中止）
- ② 11月25日（水）～28日（土）全国専門学校野球大会出場（岡山県倉敷市）

サ 10月25日（日）柔道整復師認定実技審査が本校にて行われ、柔道整復師学科9名が受験し全員合格した。開校以来100%を維持。

シ 学校創立15周年記念事業として同窓会の協力により環境整備と掲示板設置を行った。

ス 10月18日（日）県防災訓練に救急救命士学科1・2年生全員が協力参加した。